

国営昭和記念公園 こもれびの里整備計画（平成12年度～）

お父さん、お母さんが子供だった頃・・・



■主旨・内容

「こもれびの里」は、国営昭和記念公園の「森のゾーン」にあって、公園北部の砂川口ゲート近くに位置する。「昭和・武蔵野・農業」をテーマとして、昭和30年代のなつかしい武蔵野の農村風景を再現し、さまざまな体験を通して暮らしの知恵を発展継承するものである。

また、今後の計画・整備・運営にあたっては、市民参加によることを基本方針としている。

本業務は、市民参加による整備・運営を具現化するため、その可能性を調査し、今後の施設整備・運営に向けた、協働による各種討論会や計画ワークショップ等の企画・運営を行う。また、植栽及び園路広場や水田等の土木造園整備計画や農家ゾーン整備に向けた計画を検討行っている。

◆テーマ

昭和・武蔵野・農業

◆目的

近くにおいて懐かしい昭和、
ちょっと昔の風景やものに出会うとき、**私達の心はほっとする。**
単なる懐古趣味や郷愁だけの古里ではなく、**新しいライフスタイルにこたえる。**
現代の里「今里」を創造する

かつての暮らしの知恵を再発見し、
将来へ向けて発展継承する。



平成17年 春

「こもれびの里」の歩み

- 平成14年 9月：「こもれびの里クラブ」発足
畑の開墾開始
- 平成15年 5月：実験水田の開墾
- 平成17年 4月：作業小屋「里の小屋」完成
- 平成18年 4月：谷戸田造成工事完成
- ：
- 平成19年度：開園予定



開墾前の里の風景

■諸元

- 公園名称： 国営昭和記念公園
- 施主： 国土交通省 関東地方整備局
国営昭和記念公園工事事務所
- 所在地： 東京都立川市
- 敷地面積： 180ha
- 対象面積： 2.8ha
- 業務内容： 運営基本計画
- 設計期間： 2001.11～2007.03

国営昭和記念公園工事事務所長表彰